



京都高齢者大学

北近畿校

運営委員会 ニュース

2017年11月
北近畿校
運営委員会事務局

好評の内に、各講座 2 回終了!

仲間とともに学ぶ楽しさ

いいこと聞いたぞ!
試してみよう!

時事講座 第1回 9/19(火)

講座内容:「半世紀ぶりに激動する世界」(上)

講師:鈴木元氏

開設にあたり、北近畿校を支えていただいている福知山公立大学副学長の富野暉一郎氏から世界と地域を結ぶ学校の理念からも大いに期待し応援したい旨の挨拶をいただきました。

時事講座の第一回目の講義は、上海同济大学アジア太平洋研究センターや国際環境整備協会などで要職に就かれている国際ジャーナリストの鈴木元氏から「半世紀ぶりに激動する世界(上)」と題して講義をいただきました。鈴木講師は、年に四・五回は渡航しておられることもあり、多くの受講生にとって「欧米と日本は先進国—アジアは後進国」の固いイメージを覆す多岐にわたる世界の現状を報告いただき、世界史の見方を鋭い視点から問題提起をいただき、受講生にとって世界史の新たな視点が広がる講義でした。

へえ~ 知らなかったあ
そうなんやー!

なるほど! もっと
知りたくなるなあ



時事講座 第2回 10/17(火)

講座内容:「自衛隊を活かした日本の安全保障」

講師:松竹信幸氏

第2回時事講座は、「自衛隊を活かした日本の安全保障」をテーマに、(株)かもがわ出版編集長の松竹信幸様から講義をいただきました。松竹様は、日本平和学会員で「自衛隊を生かす会」の事務局長もされています。次の要点で北朝鮮や中国との対応などを講義されました。

いま、世界経済は、相手国の破壊は自国の経済をも破壊する時代であり、今の時代にふさわしい、外交と一体となった防衛政策が必要であり、相手の破壊を前提にした抑止力から真の専守防衛の考え方を世界に広げる必要がある。

憲法 9 条のもとで、海外で一人の命も奪ったことがなく、現地の人に銃を向けない特別な軍隊というブランド力を生かすべきであり、日本こそが世界で最も期待されている。時代遅れの「血の同盟」から、時代にふさわしい日米関係を構築し、日本国憲法に基づく平和戦略と「自衛隊の活かし方」を模索すべきである。

各講座日程

残り3回!
最後まで楽しく
学びましょう

時事講座 11/21 (火) 12/19 (火)

1/16 (火)

歴史講座 11/15 (水) 12/20 (水)

1/17 (水)

健康講座 11/16 (木) 12/21 (木)

1/18 (木)

いずれも午後 2 時~4 時

福知山公立大学にて

歴史講座 第1回 9/20(水)

講座内容：「福知山と明智光秀」

講師：西村正芳氏

講義内容は、光秀が丹波(福知山)と、どのような経過で関係が出来てきたのかを各種資料より学んだ。まず、織田信長の命により、明智光秀が苦戦をしながらも4年で丹波を平定し、光秀と丹波地方と縁が出来る。福知山に残る文書は少ないが、明智光秀書状や明智光秀家中軍法等の文書が保存されている。

実際に光秀は、福知山城(現在の福知山城よりも規模は小さい)に住んでいた時期もあり、水害を防ぐために設けたとされる藪が、今も「明智藪」と言い伝わり広く知られている。

光秀は丹波地方平定後、わずか3年で本能寺の変を起し織田信長を討ち取るが、数日後には殺されてしまい、マイナスのイメージがつきまとうが、福知山音頭に「明智光秀丹波を広め、広め、丹波の福知山」という歌詞もあるように、今も福知山では光秀公として親しまれている。

歴史講座 第2回 10/18(水)

講座内容：「古代丹後の日本海交流」

講師：河森一浩氏

講義内容は、古代においては日本海側が大陸と交流する「表玄関」であったことを、文学や伝承、古墳などを通して裏付ける内容であった。

文学伝承としては有名な「山椒大夫」があり、話の内容は奥州から北陸、丹後が深く結びついている。

考古学面からは、丹後には多くの大きな古墳群があるが、その出土品から「水晶玉・ガラス・南国の貝殻」といった物が多く発掘されている。これらは他の地方の古墳からは殆ど発掘されない貴重な物であり、中国大陸と直接交流が盛んに行われていたと推測される。

特に丹後は、西回り航路の主要拠点だけでなく、分水嶺を使って都(瀬戸内)との交流もあり、まさに「表玄関」であった事を実感出来た。

健康講座 第1回 9/21(木)

講座内容：「ライフログによる健康管理」

講師：芦田信之氏

健康講座第1回目、受講登録は21名です。体重や血圧、歩数、食事内容、等々。自己の健康管理に注意し、いろいろ記録を取っている人は多いでしょうが、続けることは結構大変です。マメにできる人はいいですが、自分で記録できない人は、「ライフログ」という、自動的に記録してくれる方法があります。発達したICT技術も利用して、数値をきちんと記録、健康管理に有効利用しましょう。数値の利用だけでなく、行った場所が記録できたり、健康管理という目的以外にも活用の幅が広がる楽しみもありますよ。

ザクッとまとめればこのようなお話、実際に使えば面白いかもしれない。次回からも実践につながる講座が続きそうで、楽しみです。



健康講座 第2回 10/20(金)

講座内容：「スポーツ科学・運動生理学からみた健康」

講師：東照正氏

東先生は、卓球の日本ナショナルチームのチームドクターだったそうで、「卓球に役立つメディカル講座」の資料を使いながらも、「でも私たちはアスリートじゃないんだから、普通に暮らす中で普通に健康に暮らす方法を身につけましょうね」というお話でした。

先生が発見した？効果絶大のうがいの方法、西洋人が「カタコッタ〜」と言わないわけ、心臓鍛えるなら上り坂、足腰鍛えるなら下り坂、コロコロ変わる健康情報に惑わされないで日ごろの栄養管理が大事だよって話、等々、様々な耳より情報を織り交ぜながら、大きな身振り手振りで楽しい講義。終了後には個人の健康相談の時間のサービス付き。